

## 技術評価報告書の構成（案）

はじめに

産業構造審議会評価ワーキンググループ委員名簿

評価検討会委員名簿

技術評価に係る省内関係者

審議経過

### 第1章 事業の概要

1. 本事業の政策的位置付け/背景
2. 当省（国）が実施することの必要性
3. 国内外の類似・競合する研究開発等の状況
4. 研究開発の内容
5. 研究開発の実施・マネジメント体制等
6. 事業アウトプット
7. 事業アウトカム
8. 事業アウトカム達成に至るまでのロードマップ
9. 費用対効果
10. 前回評価の指摘事項と対応状況

### 第2章 評価

1. 当省（国）が実施することの必要性
2. 研究開発内容及び事業アウトプットの妥当性
3. 研究開発の実施・マネジメント体制等の妥当性
4. 事業アウトカムの妥当性
5. 事業アウトカム達成に至るまでのロードマップの妥当性
6. 費用対効果の妥当性
7. 総合評価
8. 今後の研究開発の方向等に関する提言

### 第3章 評点法による評点結果

### 第4章 評価ワーキンググループの所見

## 「第2章 評価」の取りまとめ方

- 評価項目毎に以下のように評価コメントを取りまとめる。
- 各委員のコメントを取りまとめて、評価検討会の総意としての評価コメントを枠内に記載する。
- 各委員の評価コメントは（A委員）などと匿名により全て列記する。

### (例) 7. 総合評価

〇〇〇〇〇の観点から積極的に関与してくべき分野である。さらに〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇である。

他方、〇〇〇〇〇〇〇〇〇からすると、実用化に向け〇〇の点について検討する必要がある、また、〇〇の課題を乗り越えるために、〇〇する必要がある。

#### 【肯定的意見】

A委員：〇〇〇〇と考える。

B委員：〇〇〇の観点から〇〇〇である。

C委員：

・・・

#### 【問題点・改善すべき点】

A委員：〇〇〇〇の点については今後さらに検討すべき。

B委員：〇〇の状況からすると更に〇〇を精査して見直すべき。

C委員：

・・・

### 「第3章 評点法による評点結果」の取りまとめ方

- 各委員の評点は匿名にして掲載する。
- 各委員の評点を、A=3, B=2, C=1, D=0点に換算し、平均値を算出。
- 評点は評価コメントを補完する資料とし、評価の全体的な傾向を把握することを目的とする。

(評点の取りまとめ例)

